

## 令和4（2022）年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人

歯科ネットワーク岡山から世界へ

## 1. 概要

令和元年度末より広がり始めた新型コロナウイルス関連感染症まん延予防のための規制が緩和されたため、活動再開の目途が立った。そのことを会員へと報告すべく、また、長期にわたり顔を見ていなかった現地ボランティアとコミュニケーションを取るために、令和5年2月にWeb上で活動報告会を行った。

国内では、年度当初から歯科衛生講習が再開となり、技能実習生の入国状況に合わせ12回の講習を行った。

## 2. 活動内容

## (1) 活動前視察

活動を再開するために、現地や現地預けとなっている資材の状況を確認するために、フィリピンの Self Reliance and Development コンコウキョウセンター（以下、SRD）、ベトナムのストリートチルドレン友の会（以下、FFSC）それぞれに理事を派遣した。フッ素うがい用フッ素粉末や寄贈品を贈り、コロナ禍であったことや今後の方針について協議を行った。

その結果、SRD・FFSCともに令和5年度内に活動を再開することとなった。

## (2) 学費支援プログラムへの参加

令和2年度から開始されたSRDの独自学費支援プログラム（名称：School A Child）に複数の会員から支援を得、SRDへ紹介した。

## (3) Web 活動報告会の開催

2020年9月に10周年を迎えたため、同年10月には10周年記念式典を執り行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため無期延期となっていた。しかしながら、海外渡航に関する規制が緩和され活動再開の目途が立ったことをきっかけに、活動報告会を開催することとなった。

募集を会員と現地関係者に限定し行った結果、全会員26名のうち理事含め12名の

参加があった。SRD の現地関係者、FFSC での活動時の現地ボランティアも交え、家庭的で和やかな雰囲気の中で報告会を終えることができた。

(4) 定例理事会

オンライン会議システムを利用し、偶数月に行うこととしている。令和3年度中に合計6回開催した。

(5) 定款の一部変更

規制は緩和されたが、理事会・総会等の会合を今後もオンライン会議システムを用い行うことが予想されたため、今後も会員が安心して決議を行えるよう定款を一部変更した。(第24、29、30、33、37、38条)

(6) 歯科衛生講習の実施

概要にもあるとおり、年度内に12回の講習を行うことができた。

3. 令和4（2022）年度の課題と次年度

コロナ禍により会員間、またはステークホルダーとの間にコミュニケーション断絶が生じた。活動再開を通じ、この断絶を修復していくことが課題の一つと考えられる。